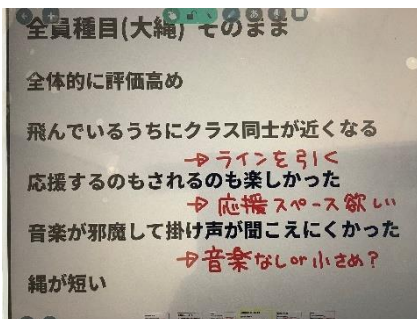


「進化」 令和6年度のひまわり祭に向けて

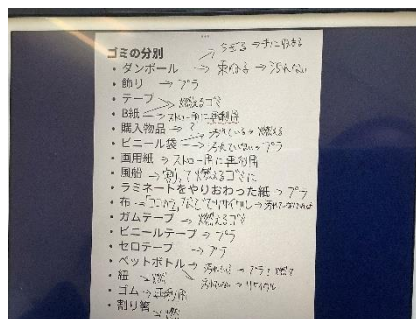
ひまわり祭に向けて、体育祭・文化祭の部に分かれて週に数回の頻度で実行委員会が開かれています。実行委員長はもちろん、各学級の実行委員も有志です。歴史あるひまわり祭。保護者のみなさんの中には、ご自身が中学生の頃に参加、中には企画・運営に携わった方もみえることでしょう。長い歴史の中で工夫・改善を重ねてきました。特に、コロナ禍そしてタブレット端末が一人一台貸与された令和2年度・3年度には、それ以前と大きく変わりました。今年度の実施に向けても、昨年度に集約した反省をもとに改めて実行委員会で検討が進められています。文化祭実行委員長は「集大成」をキーワードに掲げました。両実行委員会ともに学年混在の担当グループに分かれています。3年生はまさしく「集大成」として、これまで2年間経験したひまわり祭をもとにしてよりよくするために中心となって進めています。一方、1・2年生もフレッシュで斬新な意見を積極的に出しています。互いにリスペクトし合う様子が伝わってきます。両実行委員会とも、グループごとに担当教員がいます。教員も見守り、一緒に悩み考え、認めて励まします。学年、そして生徒と教員の立場を越えた一体感があります。

体育祭では、実施競技種目の見直しやルールについて検討してきました。「運動が苦手な生徒でも楽しめる」といったコンセプトを大切にすることに加え、今年度は「見ている人も楽しめる分かりやすさ」を強く意識しているようです。文化祭については、有志発表を全校生徒が見ることができるように日程を考えています。また、昨今問題になっている文化祭で出るごみ処理についても、検討グループを立ち上げて分別の徹底や再利用する方法などを考えています。

5月末までの時点で10回近くの実行委員会を経て、今年度のひまわり祭についての詳細が固まりつつあります。近いうちに全校生徒向けにお知らせがあると思います。練り上げられた楽しめるものになるでしょう。ただし、ひまわり祭が楽しめるものになるかどうか、成長できる機会になるかどうかは、一人一人のとらえ方次第です。生徒の皆さん、ぜひ当事者意識をもって準備も含めてひまわり祭を満喫してほしいと思います。



【体育祭 昨年度の反省を受けて】



【文化祭 ごみの分別】



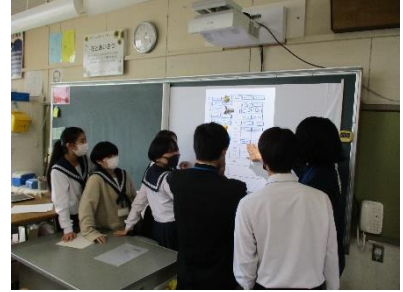
【話し合いの様子】

※左2枚の写真については各グループで考えた案です。今後、変更される可能性もあります。

5月の学校生活等の様子

修学旅行に向けて（3年生）

いよいよ間近に迫ってきました。学級分散のコースを決めたり、バスの座席などを決めたりしていました。実行委員が中心となって、いろいろな意見を集約しながら進めてきました。しおりも完成しました。今後も細かなことも含めて確認をしながら進めていきます。



部活動正式入部（1年生） 5 / 21（火）

見学、体験入部を経て正式入部となりました。1年生は上級生の手本を見たりアドバイスを受けていたりしながら初々しく取り組んでいます。人数が増えたことで活気が出ただけでなく、2・3年生も1年生の姿勢に刺激を受けて、これまで以上に熱心に活動しています。



職業人の話を聞く会（2年生） 5 / 30（木）

P T A企画として「職業人の話を聞く会」を開催しました。テレビ等のメディアでも活躍されている若山陽一郎さんを講師にお招きしました。夢はあってもなくてもよいことや、何度失敗してもやり直せること、恩返しの大切さなど、ご自身の経験をもとにしながら生徒に話していただきました。「失敗しないことが一番の失敗」とのことです。最後の質疑応答、たくさんの質問が出ました。大変参考になる、そして楽しくすてきな学びの時間となりました。若山先生、ありがとうございました。

